



長野県／駒ヶ岳風致探勝林



北海道／上川浮島風景林



岩手県／焼走り自然観察教育林



茨城県／奥久慈自然休養林



山口県／岩国自然休養林



徳島県／剣山自然休養林



鹿児島県／屋久島自然休養林

詳細については「日本美しの森 お薦め国有林」のウェブサイト
(http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/) をご覧ください。



「日本美しの森 お薦め国有林」のご紹介



温身の池

温身平風致探勝林 (山形県)

【概要】

山形県西置賜郡小国町の南部、飯豊連峰の麓に位置する温身平風致探勝林は、様々な専門家による検証の結果、平成 18 年に全国初の森林セラピー基地に認定された癒やしの森です。樹高 30 m に達するブナの巨木が林立する見事な森林であり、ツキノワグマ、カモシカ、さらにはイヌワシ、クマタカなどの希少動物が住む豊かな生態系を育んでいます。

【見どころ】

幹の色が小国町のキャッチコピー「白い森の国おぐに」の由来となった温身平を代表するブナをはじめとして、樹齢 300 年を超える「鶴音平のミズナラ」や「森の巨人たち 100 選」に選ばれた高さ 24m の国内最大級のヤチダモの巨木といった見どころがたくさんあります。また、森林セラピー基地内に整備されている遊歩道は、初心者でも楽しめる森林トレッキングの場としてもおすすめです。ブナ林の中を 2 時間程度で散策ができるコースもありますので、秀峰飯豊連峰を間近に望み、癒しの効果を感じながら気軽に歩いてみてはいかがでしょうか。

【イベント等】

7/14～8/26 の毎週日曜・祝日は温身平の案内人（森林セラピーアテンダント）が現地入口に常駐しており、常駐日にはミニツアーも有料で体験できます。（予約不要・小学生以下無料）また、9/25 には「ブナの森リトリートツアー ～森林セラピー＆森ヨガ～」が開催されます。森林セラピーアテンダントの案内でセラピーロードを歩き、ブナの森でヨガも体験できます。（問い合わせ先：小国町森林セラピーアテンダントミーティング事務局、TEL 0238-62-5955）

【アクセス等】

公共交通機関の場合（JR 小国駅から）

【7/1～8/31】

町営バス（約 60 分）→飯豊山荘下車 徒歩約 20 分

【5月中旬～6/30、9/1～10/31（11月～5月中旬は県道が冬季閉鎖）】

町営バス（約 40 分）→飯豊梅花皮荘下車 徒歩約 90 分

車の場合・JR 小国駅から約 40 分



圧倒的な存在感を誇る名峰「トムラウシ山」

提供：新得町役場産業課

トムラウシ自然休養林 (北海道)

【概要】

本地域は北海道のほぼ中央部に位置し、大雪山国立公園に指定されています。また、国内でわずから地域しか指定されていない原生自然環境保全地域でもあり、トドマツやアカエゾマツの数少ない原生林が現存する貴重な地域です。

【見どころ】

「カムイミナタ（神々の遊ぶ庭）」として崇められている「トムラウシ山」は、アルピニストの憧れの地として有名であり、手つかずの花畑や湖沼など壮大な大自然が残る名峰です。7月中旬から雪が解け始め、それを追うように8月にはチングルマなどの高山植物の絨毯が一面を覆い、9月には山頂部の紅葉が始まります。また、山麓を流れる十勝川は、雪解け水が一段落する夏季であっても、豊富な水量の恩恵を受け、迫力満点なラフティングを楽しむことができます。さらに、北海道の大自然の中でのんびりカヤックを漕ぎながら、コバルトブルーが眩しいカワセミ等の夏鳥をウォッチングするのも通の楽しみ方です。

【イベント等】

9月29日（日）には、そばの名産地「新得」ならではの恒例イベント「しんとく新そば祭り」が開催されます。「とれたて、ひきたて、打ちたて、茹でたて」の「4たて」そばを是非ご賞味ください。

【アクセス等】

トムラウシ温泉：新得駅から車で約 70 分



8

2019
No.149

Contents

- 03 特集 「美しの森」へ行ってみよう
- 10 海外・現場最前線からのお便り 持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた資金調達 ～国連食糧農業機関(FAO)の取組～
- 12 人材育成の現場から 秋田林業大学校／和歌山県農林大学校
- 14 日本の林業遺産を知ろう！ 矢部村における木馬道と木場作林業
- 16 国有林野事業の取組 奥会津森林生態系保護地域のニッコウキスゲ保全に向けて ～尾瀬大江湿原における地域の関係者と協力した防護柵の設置活動～
- 18 TOPICS 01 2019 年度「わたしの美しの森 フォトコンテスト」募集中！あなたの魅せたい森はどこですか？
- 19 みどりの女神が行く！



「美しい森」へ 行ってみよう

林野庁では、特に優れた自然景観を有するなど、観光資源としての活用の推進が期待されるレクリエーションの森を「日本美しい森 お薦め国有林」として、全国で93箇所選定し、情報発信等に取り組んでいます。今回は、特に夏にお薦めしたい「日本美しい森 お薦め国有林」を一部ですが紹介します。

お出かけの前には気象情報を確認するとともに、天候の変化に対応できるよう服装を準備しましょう。

また、お越しの際は、履き慣れた運動靴やトレッキングシューズ等を着用してください。

空から風景林を撮影



アカエゾマツと青空を映す沼

北海道森林管理局

かみかわうきしま

上川浮島風景林

(北海道上川郡上川町)

静寂の高層湿原に散在する大小70余りの天然沼と、水面に映るアカエゾマツと湿原の花々



チングルマ



キタキツネ



湿原を散策

概要

大雪山国立公園の北側に位置する上川浮島風景林は、「浮島湿原」とその周辺の森林からなり、静寂に包まれた場所で、新緑から紅葉の季節まで色鮮やかな景色を楽しむことができます。浮島湿原内の沼の一部には名称の由来でもある風に吹かれて移動する「浮島」があり、日本でも数少ない貴重なものとなっています。

楽しみ方

面積約22ha、一周約3kmある湿原には大小70あまりの沼があり、沼をめぐる木道からは、点在するアカエゾマツ、エゾヒツジグサ等の水生植物、モウセンゴケ等の湿性植物、チングルマ等の高山植物、多くのトンボやチョウを観察できるほか、バードウォッチングが楽しめるなど、冷涼な気候の下、湿原ならではの散策を堪能することができます。

また、近隣には大雪山系を一望できる「大雪森のガーデン」があり、およそ700品種の草花が咲き誇る「森の花園」や自然の木々や可憐な山野草に囲まれてくつろげる「森の迎賓館」では花や緑が見る者を楽しませてくれます。10月14日までの営業となっておりますので、上川浮島風景林と一緒に訪れてみてはいかがでしょうか。

アクセス

上川駅から車で約40分

※冬季(11～翌5月)は町道が不通となるため行くことができません。



熔岩流と岩手山

東北森林管理局

やけはし 焼走り 自然観察教育林

(岩手県八幡平市)

岩手山麓の四季と
熔岩流のコントラスト



上空から撮影した熔岩流とカラマツ林



キャンプ場



カラマツ林内の遊歩道



コマクサ

概要

焼走り自然観察教育林は、歌人石川啄木が歌に詠むなど、古くから地元
に愛される岩手山の北東部に位置し、熔岩流の黒くゴツゴツした岩石が
長さ約 4km、最大幅約 1.5km にわたり広がっています。

この熔岩流は 1700 年代の岩手山の噴火で流れ出た熔岩が固まって出来たもの
で、現在に至るまで自然の状態が維持されています。昭和 27 年には国の特別
天然記念物に、昭和 32 年には十和田八幡平国立公園の特別保護地区にも指定
されました。

焼走りの熔岩流では植生遷移^{しよくせいせんい}の速度がきわめて遅く、コケ類や地衣類^{ちいるい}が多くを
占めており、今なお植生の遷移の様子を観察することができる熔岩流として、
学術的にも非常に価値が高い場所です。

楽しみ方

焼走り熔岩流の砂礫地帯^{されき}や登山道沿いには、「高山植物の女王」と言わ
れるコマクサの桃色の可憐な花が見られます。

また、周辺には温泉、地元食材（八幡平マッシュルーム等）
を提供する食事処、キャンプ場等を有する「岩手山焼走り国
際交流村」があり、岩手山麓の大自然を五感で満喫できるア
ウトドアスポットとなっています。

さらに、野営場周辺のカラマツ林内には遊歩道、多言語看板や Wi-Fi 等が整備
され、国内外の利用者が快適に過ごすことができます。

アクセス

東北自動車道 西根 IC から車で約 15 分



日本三名瀑・袋田の滝



関東森林管理局

おくくし
奥久慈
自然休養林

(茨城県久慈郡大子町、
ひたちおみやし ひたちおとし
常陸大宮市、常陸太田市)

めいばく ふくろだ
日本三名瀑の袋田の滝と
新緑・紅葉、奇岩・怪石の男体山



紅葉の男体山



秋の袋田の滝



電神峡



電神峡に架かる電神大吊橋

概要

奥久慈自然休養林は、茨城県北西部に位置し、四方を阿武隈山地と八溝山地に囲まれた山間部にあり、奥久慈県立自然公園の中枢的位置を占めています。

当該箇所は、日本三大瀑布の一つであり国指定の名勝でもある袋田の滝を中心とした「袋田・月居山地域」、男体山を中心とした「男体山地域」、男体山が源流となる電神川をせき止めて造られた竜神ダムを中心とした「竜神峡地域」に区分されており、それぞれの地域で自然景観の観賞や登山等のレクリエーションを楽しむことができます。

楽しみ方

恋人の聖地にも選定されている袋田の滝は、滝の流れが大岩壁を四段に落下することから、別名「四度の滝」とも呼ばれ、一説には、西行法師がこの地を訪れた際、「この滝は四季に一度ずつ来てみなければ真の風趣は味わえない」と絶賛したことからも伝えられています。

これからの季節、滝の水しぶきや川のせせらぎに一服の清涼感を感じてはいかがでしょうか。青葉と清らかな水音が織りなすハーモニーをお楽しみください。また、男体山地域には、奇岩や怪石が見事な断崖を形成する男体山のほか、周辺には長福山を巡る自然探求路もあり、多くのハイキング客が訪れています。さらに、竜神ダムにかかる、「竜神大吊橋(全長375m、高さ100m)」では、遮る物のない新緑や紅葉の景観を楽しむことができるだけでなく、夏の暑さも吹き飛ばすスリル満点のバンジー・ジャンプ(高さ100m)も体験できます。

アクセス

「袋田・月居山地域」

袋田駅から路線バスで約 10 分

常磐自動車道 那珂IC から車で約60 分、東北自動車道 矢板IC から車で約85 分

「竜神峡地域」

常陸太田駅から路線バスにて約50 分で竜神大吊橋。下車後徒歩約80 分

「男体山地域」

常磐自動車道 那珂IC から車で約60 分、東北自動車道 矢板IC から車で約90 分



秋の千畳敷

中部森林管理局

こまがたけ 駒ヶ岳 風致探勝林

(長野県駒ヶ根市、上伊那郡宮田村)

標高日本一のロープウェイ

千畳敷駅から望む大パノラマ

～氷河が刻んだカールが語る
太古のロマンと高山植物の饗宴～



夏のお花畑



朝日を浴びる色づく山



ヒメウスユキソウとチョウノスケソウ



春の千畳敷

概要

駒ヶ岳ロープウェイの起点である「しらび平駅」(標高 1,662m) から、中央アルプスの宝剣岳、中岳や木曽駒ヶ岳の稜線にかけて広がる駒ヶ岳風致探勝林。ロープウェイで約7分半、標高日本一の駅として知られる千畳敷駅(2,612m)に降り立つと、約2万年前の氷河の侵食によって生まれた広大なカール(半円状の窪地)や宝剣岳等の岩稜が眼前に広がります。

楽しみ方

千畳敷カールでは、整備されたコースで気軽にハイキングが楽しめることから、多くの登山者で賑わいます。また、春スキー(4～5月)が楽しめる場所としても人気です。

夏には、色とりどりの高山植物が咲き乱れるカールを眺めながら、1周約40～50分の遊歩道を散策するのがおすすめです。また、駒ヶ岳ロープウェイのスタッフが見頃の高山植物や千畳敷の秘密を紹介しながら遊歩道を1周する【FLOWERツアー】(8月25日までの土、日、祝日限定)のほか、女性限定【チャレンジトレッキングツアー】や【はじめての百名山! 中央アルプス木曽駒ヶ岳トレッキングツアー】等が開催され、百名山デビューしたい方を応援する様々なイベントが開催されます。9月に山頂から始まる紅葉は、秋の深まりとともに徐々に山麓に降りていきます。山肌が赤、黄、緑に彩られる景色の美しさは圧巻! また、厳寒の冬もロープウェイで上がることができ、青い空をバックにした白銀の世界と朝日に輝く樹氷も一見の価値あります。

駒ヶ岳ロープウェイ HP

(<https://www.chuo-alps.com/news/?term=3&orderby=date&order=DESC>)



アクセス

- 「しらび平駅」まで
- ・公共交通機関の場合
駒ヶ根駅から路線バスで約45分
- ・マイカーの場合



駒ヶ根 IC から菅の台バスセンターまで車で約3分。ここから「しらび平駅」まではマイカー規制のため、路線バスに乗り換えて約30分。

近畿中国森林管理局

いわくに

岩国自然休養林

(山口県岩国市)

自然、歴史、文化、
すべての人へ 岩国自然休養林



錦帯橋と城山

概要

山口県東部にある日本三大奇橋の一つ、「錦帯橋」の背後に位置する岩国自然休養林は、海拔 150m 程度の比較的緩やかな丘陵状の山地で多くの史跡と豊かな自然があります。

シイ・カシ等の常緑広葉樹が主体となっている天然林では、樹木 210 種、草花 350 種、シダ類 100 種が確認されているだけでなく、山麓の錦川も含めて年間を通して約 60 種類の野鳥を観察することができます。

楽しみ方

ここは、山頂の岩国城だけでなく、山麓の旧城下町にも史跡や園地が多く、自然休養林やその周辺で気軽に歴史にふれることができます。また、城山山頂へのロープウェーや遊歩道も整備されているので、幅広い年齢層の方に、夏の強い日射しから逃れ、涼しい木陰の中でのハイキングや史跡探訪を楽しんでいただけます。

さらに、山麓の清流錦川では、夏には水遊びもできるだけでなく、夜にはかがり火をたいた何艘もの小舟と川面に映った炎が幻想的な光景をつくる「錦帯橋の鵜飼い」を楽しむことができます。

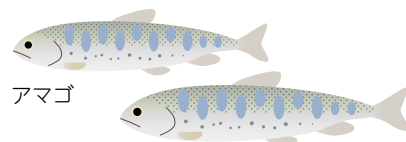
暑い夏に、様々な「涼」を求め、岩国自然休養林にでかけてみてはいかがでしょうか。

アクセス

新岩国駅から錦帯橋行バスで約 15 分

岩国駅から錦帯橋行バスで約 20 分

山陽自動車道「岩国 IC」から車で約 10 分



アマゴ



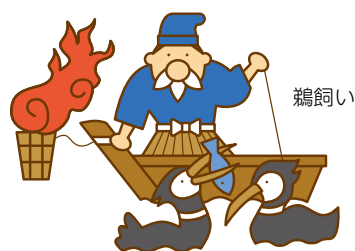
城山で空中散歩！



再現、吉川家の城（岩国城）



春の夜に錦帯橋



鵜飼い



紅葉谷のメインストリート



剣山

四国森林管理局

つるぎさん

剣山自然休養林

(徳島県三好市)

四季折々の醸し出す
鮮やかな自然美

～霊峰つるぎと秘境の里～



剣山山頂



大剣岩



キレンゲショウマ



奥祖谷二重かずら橋

概要

徳島県西南部にある剣山自然休養林は、西日本で2番目に高い剣山(1,955m)を擁しています。剣山麓の森林は林野庁の「水源の森百選」に登録されており、この森林が育んだ豊富な水は地域の水道水や農業用水等に利用されています。

また、剣山は日本百名山にも選定されているほか、古くから修験道の山として知られており、多くの登山客や山岳信仰の参拝者が訪れています。

楽しみ方

剣山は登山ルートがいくつも整備されており、初心者から熟練者まで楽しめる、どのルートでも自然美を堪能することができます。登山口の一つである見ノ越から剣山の中腹までは登山リフトが整備されており、山頂まで約1時間と比較的登りやすいのも人気の一つとなっています。8月頃にはキレンゲショウマが群生地で咲き誇り、9月頃には紫のミヤマリンドウ、10月には燃え立つような紅葉と四季折々の植物が登山客を出迎えてくれます。

また、見ノ越より日本3大秘境といわれる祖谷方面に向かう途中の落合集落(国の重要伝統的建造物群保存地区)では、茅葺き民宿ステイで山のごちそうと星が降るような満点の星空を堪能できます。その他、日本三奇橋の一つであり、某有名旅行会社の企画「死ぬまでに渡りたい世界の徒歩吊り橋10」にも輝いた「祖谷のかずら橋」でスリルを味わうこともできます。

さらに、近くには日本三大秘湯の「祖谷温泉」もあるので登山の後に立ち寄ってはいかがでしょうか。

イベント

毎年10月には見ノ越で「もみじ祭り」が開催されており多くの登山客や観光客で賑わっています。

アクセス

見ノ越まで

- ・貞光駅から車で約100分(登山シーズン中は臨時バスが運行)
- ・大歩危駅からバス(東祖谷久保乗り継ぎ)で約120分(運行時期:4/1～11/24)



太古の時を知る千年杉



千年杉
Sennensugi



太鼓岩からの眺望

九州森林管理局

やぐしま
屋久島
自然休養林

(鹿児島県熊毛郡屋久島町)

屋久杉が語る
太古の森のヒストリー



先人達の労苦を語る
屋久杉の切り株

概要

屋久島にある屋久島自然休養林は、「ひと月に35日雨が降る」と言われるほど降水量が多く、樹齢数千年を超える屋久杉の巨木が点在し、雨によって育まれた美しい苔が地表を覆う原生林です。また、藩政時代の屋久杉の巨大な切り株や試し切りの跡等も観られ、人と屋久杉の歴史を物語る森でもあります。

楽しみ方

荒川地区（通称：ヤクスギランド）は、ふれあいの径コース（30分）、いにしえの森コース（50分）、つつじ河原コース（80分）、やくすぎの森コース（150分）、天文の森コース（210分）の5コースに分かれており、仏陀杉や母子杉といったユニークな名をもつ屋久杉を観ながら体力に応じた散策が楽しめます。

白谷地区（通称：白谷雲水峡）は、一番人気の太鼓岩往復コース（約4時間）をはじめ、弥生杉コース（約1時間）、奉行杉コース（約3時間）に分かれ、屋久島を代表する大杉が楽しめます。また、白谷川の清流と谷に重なり合った花崗岩の「憩いの大岩」からなる渓谷や苔むす森は、清涼感に溢れています。そのほか、照葉樹林に囲まれた安房川でのリバーカヤックや沢登りを体験したり、大川の滝風景林の滝壺の真下に行って88mの落差を豪快に流れ落ちる滝の水しぶきを浴びるなど夏ならではの楽しみがいっぱいです。（詳しくは屋久島町役場：TEL：0997-43-5900 までお問合せください。）

アクセス

荒川地区

- ・宮之浦港からバスで1時間15分（合庁前で乗り換え）、車で約40分

※ヤクスギランド行きのバスの本数は非常に少ないので、出かける前に確認をしてください。

- ・安房港から車で約40分

白谷地区

- ・宮之浦港からバスで約35分、車で約25分
- ・安房港からバスで約1時間（小原町で乗り換え）、車で約40分



苔むす清流



ヤクスギランド内の遊歩道



ヤクザル

海外で活躍する林野庁職員の近況を
シリーズで報告します



持続可能な開発目標(SDGs)の

達成に向けた資金調達

～国連食糧農業機関(FAO)の取組～

FAO事業支援・技術協力局ビジネス開発・資源動員部
ドナーリエゾン担当官(準専門家)

くまがい ゆうり
熊谷 有理

9 人に1人。何の割合かご存知ですか？答えは残念ながら「世界の飢餓人口」です。最新の報告^{※1}によると、飢餓に苦しむ人々の数は、2015年以降増加傾向に転じ、2018年には約8.2億人に達したと推定されています⁽¹⁾。同時に、肥満や微量栄養素不足などの栄養不良も大きな問題となっています。

飢餓とあらゆる栄養不良を2030年までに解消する。それが、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」⁽²⁾のうち、SDG2が掲げる世界レベルのターゲットであり、国連食糧農業機関(FAO)が担う使命の中核なす目標でもあります。

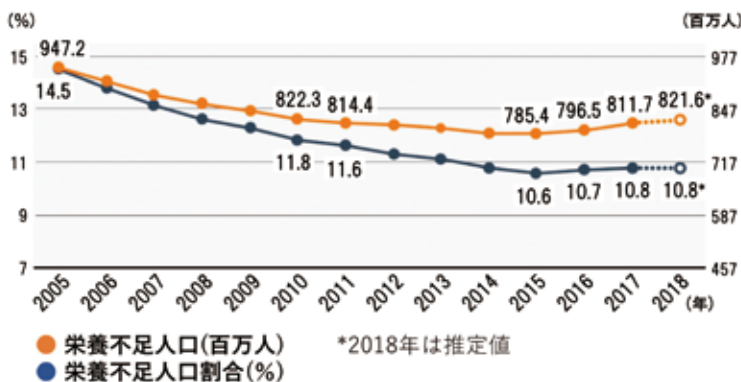
この目標の達成には、貧困の削減、持続可能な農林水産業の発展、自然環境の保全、気候変動への対応、技術革新、ジェンダー平等など、他の多くのSDGsに関わる包括的な取組が求められます。FAOの役割は、食料・農林水産業という切り口から、各国におけるこれらの取組を支援することです。

そこで問題となるのがやはり

活動資金です。FAOの予算は、加盟国が義務的に支払う「分担金」と、先進国政府などのドナーが任意で支払う「任意拠出金^{にんいきよしゅつぎん}」で成り立っています⁽³⁾が、近年、分担金が頭打ちする中、任意拠出金の重要性が一層高まっています。

私のFAOでの仕事は、この任意拠出金の受け入れを担うビジネス開発・資源動員部において、日本政府をはじめとするドナーとの窓口(リエゾン)を務めることです。私を含めドナーリエゾン担当官たちは、ドナーとの日頃のやりとりはもちろん、FAO・ドナー共通の優先課題を話し合うための年次協議の開催⁽⁴⁾や、事業に関するドナーとの合意文書の作成・交渉を行っています。また、新規事業の立ち上げにあたって事業実施担当者をサポートするなど他部局との連携も欠かせません。ドナーの関心分野は多種多様なため、その結果FAOの幅広い活動に関わることができる

※1 FAO, IFAD, UNICEF, WFP and WHO (2019) The State of Food Security and Nutrition in the World 2019. Safeguarding against economic slowdowns and downturns. Rome, FAO. <http://www.fao.org/3/ca5162en/ca5162en.pdf>



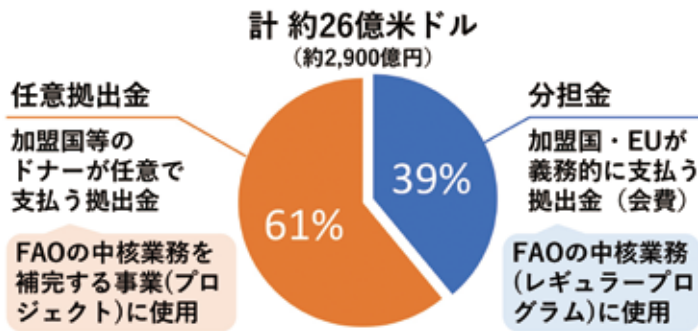
(“The State of Food Security and Nutrition 2019”¹を元に作成)



熊谷担当官の職場風景



15 陸の豊かさも守ろう
森林・林業に特に関係するSDG15
「陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する」



③ FAOの予算(2018-19年)

② 持続可能な開発目標(SDGs)

のがこの仕事の魅力です。

その中で森林・林業分野の事業に携わる機会もあります。この分野では、SDG15に含まれる持続可能な森林経営の促進や森林減少・劣化への対応のほか、森林を通じて気候変動の緩和・適応策、森林ガバナンスの強化、森林と暮らす人々の生計の改善などが優先課題とされています。これらの課題に応じ、日本政府(林野庁)からは、FAO林業局(現局長は日本人の三ツ啓都氏)が実施する①開発途上国における植林の推進、②森林関連法制に関するデータベース構築の2件の事業へ拠出しています。

ちなみに最近、気候変動の緩和における植林の大きな可能性を地球規模で数値化した、FAOとスイス連邦工科大学チューリッヒ校の共同研究が学術誌サイエンスに掲載され国際的に話題になりましたが、①の事業ではこの研究成果を開発途上国の現場レベルで使えるよう技術支援を行っているところです。

私が約2年間現職を務めて一番の課題であり面白さだと感じ

るのは、いかにFAOの優先課題、ドナーの関心、受益国のニーズに沿って戦略的に資金を調達し、それを効果的・効率的に活用してSDGsの達成に貢献していくかということです。これにはFAO内の連携協力のみならず、FAOとドナーが相互理解を深め関係を強化していく地道な努力が必要です。また、今後の資金調達においては、特に民間企業などの政府以外のドナーからの拠出金や、喫緊の問題に柔軟に対応できるよう初めに使途を限定しない拠出金をさらに増やしていくことも課題となっています。

さて、今月からFAOの新事務局長として中国人の屈冬玉氏が就任しました。「我々にはビタミンM(Money=資金)が必要不可欠」と冗談交じりに述べ「任意拠出金の毎年1割増」を公約に掲げた屈氏ですが、この新たなリーダーシップの下、FAOがどう進化していくのか、加盟国はじめ国際社会の注目が集まっています。

FAO林業局の活動についてはこちらのウェブサイトをご覧ください
www.fao.org/forestry



※2 Bastin et al. (2019) The global tree restoration potential. Science, vol. 365, Issue 6448, pp. 76-79. <https://science.sciencemag.org/content/365/6448/76>



FAO豆知識

FAOは15ある国連専門機関の一つ。

設立：1945年10月16日(日本は1951年に加盟)

加盟：194加盟国、1加盟組織(EU)、2準加盟国

使命：人類の飢餓からの解放

機能：(1)国際的な基準・ガイドラインの策定及び実施支援

(2)情報の収集・伝達、調査分析及び統計資料の作成

(3)多様なステークホルダーを交えた中立的な協議の場の提供

(4)開発途上国に対する政策助言・技術協力

組織：本部(ローマ)、5地域事務所、10地域支所、100国事務所、

6連絡事務所(駐日連絡事務所を含む)等

職員数：約1万2千人 ※2019年8月現在、農林水産省から10名出向中(うち林野庁から3名)



④ 日・FAO年次戦略協議の様子(2019年1月)

人材育成の現場から



秋田林業大学校

かわべとしまあざい どじりだい
秋田県秋田市河辺戸島字井戸尻台

修学期間：2年間

定員：1 学年18名

秋田林業大学校(秋田県林業トップランナー養成研修)は、これからの林業を担う若い林業技術者を育成するために平成27年度に開講しました。これまで50名の修了生を輩出しており、県内各地の林業現場等で活躍しています。

研修の実施にあたっては、県内の林業・木材関係団体や機械メーカーで構成する「秋田林業大学校サポートチーム」と連携した指導体制を整えており、素材生産現場や製材工場等の視察、造林・育林や間伐の実習、インターンシップ受け入れ等で支援を頂いています。

地域と連携した取組としては、秋田市や潟上市の日本海沿岸の海岸林を管理する秋田地域振興局と連携した海岸林造成があります。海岸林の平坦で見通しの良い地形が、研修初期段階の研修生にとっては、実習地として適地であり、クロマツ(コンテナ苗)の植栽や下刈り、測量による施工図面の作成といった、造林技術や施工管理能力の習得と併せて、海岸林が果たす役割や保全する重要性を学ぶ機会となっています。

2年間の研修では4回(2週間から1ヵ月程度/回)のインターンシップを実施しており、林業・木材産業の様々な業種での就業体験を重ねることができます。インターンシップ先で研修生は、その地域に滞在し、実際の業務を体験するとともに、経営者や従業員と接する時間が増すため、地域社会や人との関わりを通じて、自身の適性を見極めや就業のマッチングに繋げることができます。



海岸林での植栽方法の指導を受ける研修生



海岸林でのクロマツ(コンテナ苗)の植栽



海岸林での下刈り



PC(CAD)での施工図面の作成



インターンシップ先で伐採技術指導を受ける研修生



インターンシップ後の報告会



和歌山県農林大学校

林業研修部 和歌山県西牟婁郡上富田町 にしむろぐんかみとんだちょう

修学期間: 林業経営コース: 1 年間 (220 日間)、スキルアップコース: 5 日～58 日

定員: 林業経営コース: 10 名、スキルアップコース: 43 名

和歌山県農林大学校林業研修部では、新規林業就業希望者を対象とした林業経営コースと、既就業者を対象としたスキルアップコースの2コースを設けています。林業経営コースでは、実践的な技術と知識を持ち、川上から川下までトータルに活躍できる即戦力となる人材育成、スキルアップコースでは、林業事業体の中核的な役割を担う人材の育成や林業架線技術者の育成に取り組んでいます。

施設では、雨天でも演習できる建屋を建設するとともに現場条件を再現し、基本的なチェーンソーワークを反復練習できる傾斜伐倒装置と風倒木処理練習施設を全国に先駆けて導入するなど、安全かつ効率的な演習ができます。さらに高性能林業機械シミュレータや森林3次元計測システム、最適作業分析システムなどを導入し、最先端林業を学べる環境整備に取り組んでいるところです。また、各機械等については一般の方々も利用できるよう順次進めています。

カリキュラムにおいては、最新の油圧式集材機の運転操作研修など本県独自の研修のほか、36日間にも及ぶ林業事業体でのインターンシップ研修や地域の林業・木材産業を代表する方々が講師を担うなど、地域と連携した講座の充実を図っています。

こうしたことから、県内事業体からの求人が多く、就職率は100%となっています。

卒業後は、業界や地域との連携を図り、地域貢献にも資する人材となることを期待しています。



傾斜伐倒装置を活用した演習



風倒木処理練習施設を活用した演習



油圧式集材機の操作研修



平成30年度研修生

やめ
やべ
八女市矢部村（旧矢部村…2010
年に八女市に編入）は、福岡県最高峰
である釈迦岳を擁する山間部の集落で
あり、南北朝時代の遺構も残る歴史と
文化の地でもある。本地域は林業が生
業として営まれてきたが、2018年
にその歴史、森林との関わりを示す資
料として木馬道と木場作林業に関わる
史料が林業遺産に登録された。

村内の山林は江戸時代は柳川藩領
であり、禁伐とされて厳重に管理さ
れていた。明治以後、矢部村でも藩
林を引き継いだ官有林を中心に積極
的な木材生産が行われた。林内での
木材搬出は木馬道が主体で、その技
術・様子を伝える資料が多く残されて
おり、これらは杉のふるさと文化館で
一部が展示され、往事の技術水準を確
認することができる。生産された木材
は熊本逓信局により電柱材とされた
ほか、佐世保海軍工廠に運ばれて軍
艦の甲板に利用されたという。旺盛
な木材需要に対応するために、明治
35年に矢部村臼ノ払に八女地域で最
初の製材工場が設立された。明治43
年に村内の官有林である「正粉官山」
から臼ノ払の製材工場まで木材
を搬出させるための林道が建設された。
この林道開設を記念して作られたのが、
後述する開道記念碑である。

開設された林道は、地域にとって単
なる木材搬出以上の意味を持ってい
た。それは本地域で営まれていた木場



杉のふるさと文化館 内部

日本森林学会による

日本の林業遺産を知ろう！

第18回 矢部村における木馬道と木場作林業

鹿児島大学農学系 助教 おくやまよういちろう 奥山洋一郎



杉のふるさと文化館 外観



世界子ども愛樹祭コンクール 入賞作品



林業用具の展示 木負い子



林業用具の展示 木挽き鋸



文書資料 (愛林組合規約等)



木馬作業の写真資料



開道記念碑 (明治43年)

作林業との関わりがある。木場作林業とは、スギなどを疎植^{そじく}にすることで林内の畑耕作^{りくち}(陸稲やアワ・ヒエ、イモ等)と林業を両立させる施業である。疎植にすることで耕作用地が確保ができると同時に、この林内耕作は下刈り等の作業を兼ねることにもなる。木材としても年輪幅が広くなり防腐加工に適するため、電柱材の生産に利用された。明治43年に開設された林道は、この木場作で生産された食料を里に運ぶという役割も担っていたのである。

本地域の木場作の歴史は柳川藩時代にさかのぼる。用材は藩の土木、軍事資材として管理されたが、林内の食料生産を禁止することはなかった。これは平地が少ない本地域では食料生産を木場作に頼らざるを得ないため、また村民による営林管理といった側面もあっただろう。この地元利用は明治期以降も継続されてきたが、特に戦中期・戦後初期は疎開者の受入等もあり、人口が急増したため木場作は欠かせないものとなった。しかし1950年代に入ると、食糧事情も改善されてきて木場作の必要性が失われて、建築用材の需要が急増する中で植栽本数も増加していった。1960年にダムが建設されると、臼ノ払地区も道路が改良されると、臼ノ払地区も道路が改良されると、林道の開道記念碑も行方不明となった。

地域の人口も減少する中で、このような林業の歴史も風化しつつあった。ところが、近年になり、その状況が変わってきたのである。そのきっかけとなったのが、開道記念碑の「発見」である。仁田原石義開道記念碑保存会代表によると「集落に碑があったのは覚えていたが、ダム工事の際に撤去されたと思っていたとのことであるが、2010年に近隣の私有林内で記念碑が偶然発見された。地元の有志により開道記念碑として確認されて、臼ノ払の地区内に復元設置された。本記念碑の特徴は、台座、中段、碑文が全て三角形という点である。三角形の碑は珍しいが、これは林道開設により、「官有林」「民有地」「一般住民」の三者が恩恵を受けたことを表現していると考えられている。栗原浩暢氏のふるさと文

化館館長は「この発見により、過去の写真・道員等の収集、保存の気運が高まり、林業遺産の登録までに至った。記念碑は地域再生のために50年の時を経て還ってきてくれた」と語る。矢部村では1991年から「世界子ども愛樹祭コンクール」として森林を題材とした絵画、詩、作文等を募集しており、入賞作品は杉のふるさと文化館に展示されて、林業遺産に登録された資料と同時に観覧することができる。今後、地域内では木馬道の跡を歴史を学ぶコースとして利用する考えもある。木田博徳八女市矢部支所長は「国有林とも協力しながら、安全を確保して地域活性化に活用する方法を考えていきたい」とのこと、林業遺産登録を契機に森林と地域の新しい関係が構築されることを期待したい。

奥会津森林生態系保護地域の
ニッコウキスゲ保全に向けて

く尾瀬大江湿原における地域の関係者と協力した防護柵の設置活動く

関東森林管理局 会津森林管理署南会津支署

ニホンジカによる おぜおおえしつげん 尾瀬大江湿原の 植生への影響

広さ約35haにわたる尾瀬の大江湿原は尾瀬国立公園の東側（福島県と群馬県の県境付近）に位置しており、福島県側はほとんどが国有林となっており、また大江湿原では、尾瀬を代表するニッコウキスゲやミズバショウなど様々な高山植物が四季折々の姿を見せて観光客の目を楽ませています（写真1）。

しかし、平成20年頃からニホンシカによるニッコウキスゲの花芽の被害が年々増加したため、以前は大江山一面に咲いていたニッコウキスゲの開花

が一部分で見られなくなってきました。特に地元の檜枝岐村^{ひのえまたむら}にとっては、重要な観光資源である尾瀬のニッコウキスゲの保全は喫緊の課題であり、檜枝岐村から会津森林管理署南会津支署にも防護柵の設置によるニッコウキスゲの保全について要望が寄せられました。

二ホンジカ対策の取組

このような状況を踏まえ、会津森林管理署南会津支署では、平成26年度より大江湿原の周囲に金属製の防護柵の設置を行っています。防護柵は、栃木県などで越冬したニホンジカが春に尾瀬の雪が解けると戻ってくることで、また冬季は雪の圧力により金属製の防護柵が破損してしまうことから、雪が解

「管内概要」

会津森林管理署南会津支署は、福島県南会津郡のうち、阿賀野川上流の只見川及び伊南川流域に位置する2町1村（只見町、南会津町、檜枝岐村）に所在する国有林約11万haを管轄しています。管内の国有林の大半が奥会津森林生態系保護地域や緑の回廊、尾瀬国立公園や越後三山只見国定公園などの自然公園、只見ユネスコエコパークに指定されています。管内の大半



の森林が冷温帯に属していますが、燧ヶ岳^{ひうちがたけ}（2,356m）や会津駒ヶ岳（2,133m）などの高山も多く、その周辺の森林は亜高山帯あるいは高山帯に属しています。また、尾瀬地域^{おしやま}、田代山^{たしろやま}（1,926m）山頂など多くの箇所でも高山性湿原が形成されています。

所在地	福島県南会津郡南会津町山口字村上 8 6 7		
区域面積	167,415ha	うち森林面積	158,619ha（森林率 94.7%）
国有林面積	109,391ha（国有林率 68.9%）		
管轄区の 関係市町村	2 町 1 村（只見町、南会津町のうち旧田島町を除く区域（旧 なんこうむら いなむら たていわむら 南郷村、旧伊南村、旧館岩村の区域）、檜枝岐村		

ける6月頃に設置し、降雪前の10月頃に撤去しています。

さらに、観光客が湿原へ出入りする箇所（遊歩道）上に、ニホンジカの侵入を防止するために、扉やグレーチング^{*}を設置するとともに（写真2）、沿からの湿原への侵入を防止するために、景観を損ねない範囲で水面にネットを設置するなど、植生保護の効果を上げるための改良を重ねてきています。

^{*}「グレーチング」とは、鋼材を格子状に組んだ溝蓋のこと。ニホンジカはグレーチングを踏むことを嫌う習性がある。

地域協議会による ニホンジカ対策の取組



南会津尾瀬ニホンジカ対策協議会は、尾瀬国立公園等のニホンジカによる生態系への影響を未然に防ぐことを目的に、福島県を事務局として設立されました。協議会には、メンバーとして南会津町、檜枝岐村、檜枝岐猟友会、尾瀬檜枝岐温泉環境協会、尾瀬保護財団、尾瀬山小屋組合が、オブザーバーとして環境省や会津森林管理署南会津支署が参加しています。

当初協議会では、各機関個々の取組や現地の被害状況の報告など尾瀬の保全に向けた情報交換や協議を行うことが中心でしたが、平成29年度から協議会メンバーや一般ボランティアの参画も得て防護柵の一部設置の協力を行うことになりました（写真3）。設置に当たっては、協議会の各団体がそれぞれ役割分担しながら実施し、会津森林管理署南会津支署は、作業箇所の整備や資材の準備、当日の設置作業の指導などを行っています。

また、防護柵の設置期間中は、ニホンジカのモニタリングや追い払い、く



写真1 大江湿原のニッコウキスゲ

くりわな等による捕獲も協議会メンバーで連携し取り組んでいます。

取組の成果と課題



これらの取組により、防護柵設置期間中のシカの目撃頭数は、防護柵の導入前に比べ減少しており、地元関係者からも、花芽の被害が減り、ニッコウキスゲの開花が徐々に回復していると評価を得られています。今年は7月下旬には多くの開花が見られ、地元の檜枝岐村の方からも、ここ数年で一番の開花状況であり大勢の登山客に喜ば



写真2 設置したグレーチング

れているとの声が寄せられました。

協議会・ボランティアによる取組は、地域の関係機関、ボランティアなど地域内外の尾瀬の利用者が一体となって課題に取り組む体制を構築できたことが一番の成果であると考えています。

引き続き、効率的なニホンジカの捕獲や食害対策、ニホンジカの動向や植生のモニタリングを継続するとともに、地域や利用者が協力して取り組む体制を継続させていくことで、地域と連携した大江湿原のニッコウキスゲの保全活動を推進していきたいと考えています。



写真3 シカの侵入を防ぐ防護柵を設置する様子

2019年度 「わたしの^{うつく}美しい森 フォトコンテスト」募集中！ あなたの魅せたい森はどこですか？



「高城山国有林からの景観「ブナの樹水」
地下足袋王子



「ブルースカイ」
佐野武将



「森の学校」
中村知子



「春をほおばる」
ムラ

「日本美しい森 お薦め国有林」をはじめとする森林・山村の魅力を伝え、山村振興や豊かな社会の実現に貢献したい。そんな思いから2017年に開催した「わたしの美しい森 フォトコンテスト」。森林・山村の魅力をさらに多くの方に伝えるべく、現在、2019年度開催の作品募集中です。ぜひ、皆さまのとおき「わたしの美しい森」を教えてください。概要は下記のとおりです。詳細については、林野庁HP、チラシ・ポスターをご覧ください。



●募集部門

景観部門：森の／森からの風景・眺望を撮影したもの

生命部門：森で育まれる生物の生命・営みを撮影したもの

生活部門：森での体験・活動や木材等を活用した風景を撮影したもの

●募集期間

現在募集中。令和元年10月7日(月曜日)まで(当日消印有効)。

●応募資格・方法

プロ・アマ問わず(一人1部門1点、最大3点まで)。2016年以降であれば、撮影時期は問わず。未発表の作品に限る。

●審査方法

令和元年11月下旬開催予定の審査会において決定。入賞作品については、令和2年2月開催予定の表彰式にて発表するとともに、林野庁HP等でも公表。

●審査員

米 美知子氏(写真家)、福田 幸広氏(写真家)、本郷 浩二(林野庁長官)、実行委員会、協賛企業代表者、各森林管理局長

●表彰

林野庁長官賞(1点)、審査員特別賞(1点)、協賛企業特別賞(1点以上)、部門優秀賞(3点以上)、審査員賞(1点以上)、森林管理局長賞(7点)

主 催 者：わたしの美しい森 フォトコンテスト実行委員会

実行委員会：一般社団法人 全国森林レクリエーション協会 一般財団法人 全国山の日協議会 一般社団法人 日本森林林業振興会 公益社団法人 国土緑化推進機構 一般社団法人 全国木材組合連合会 一般社団法人 日本治山治水協会
全国山村振興連盟 一般社団法人 全国林業改良普及協会 林野庁 Recreation Forests of JAPAN

特別協賛：キャノンマーケティングジャパン株式会社

協賛・協力企業：AEON 味の素株式会社 amino VITAL 三井住友信託銀行 NISSIN 日清食品ホールディングス UCHIDA NICE ナイス すべてナイス 日清食品ホールディングス MI KEEN THULE IWATANI-PRIMUS イワタニ・プリムス株式会社 ブルボン JTB ITOKI

※当フォトコンテストは、協賛企業からの協賛金のほか実行委員からの分担金(公益社団法人国土緑化推進機構の「緑と水の森林ファンド」の助成含む)等により実施しています。



▲秋田のみなさんと一緒に森林祭。植えた樹が育つことを楽しみに…



みどりの 女神が行く!

藤本麗華 (ふじもと れいか)

秋田県で行われた植樹式典に参加

後半スタートの7月は秋田県へ。

あきた水と緑の森林祭では植樹式典にてイタヤカエデを植えました。スムーズに植樹作業をしてみよう自分に、「もう半年経ったんだ」と実感しました。そんな秋田では東北チエーンソー競技会も開催されていました。

チエーンソーの腕自慢たちが、仕上げた繊細な作品たち。思わず「これがほしい、あれがほしい」ととても楽しませて頂きました。私のお気に入りにはくまとアラジンのジニー。持って帰りたかったです。

地元近くの多摩川上流域を視察

続いては私の地元、羽村市はむらしの周辺のお話です。

東京都森林事務所さんのお力をお借りして、多摩川上流域の林業を視察してまいりました。



▲チエーンソーアートの作品達です

まずは青梅市成木地内の主伐地へ。「主伐は全部伐るだけ」と簡単に考えていましたが、運び出すことを考えると東京の山は急なところが多く、高度な技術が必要な場面も多いそうです。東京だけでは技術者が足りず、地方にも応援をお願いしていると感じました。しかも作業の本当の難易度は実際に現場を見てみないとわからず、仕事を引き受けてから作業が思うように進まないこともあるそうです。

林業に関わる人が増えて欲しいです。どんなきつかけがあれば、木やみどりについて多くの方が興味を持ってくれるだろうか?と心が動かされた現場でした。

温もりあふれる多摩産木材の魅力に触れる

多摩木材センターには、加工を待つ木材たちがたくさん並べてありました。ブランド力がある多摩産木材はここでしか手に入らないそうです。市場の方は「木を育ててきた山主さんたちに、少しでも還元してあげたい」と話していて、山主さんのことを第一に考えているのが印象的でした。

多摩産材といえば最近リニューアルした奥多摩駅が話題です。駅舎にふんだんに木が使われており、名物の駅看板は品があり立派で迫力がありました。駅には30分に1本しか電車が来ないことを活かして、木を感じるおしゃれなCAFÉが

あります。待ち時間を快適にすごせるので、奥多摩に来た際には駅を楽しみ、CAFÉを楽しんで下さいね。

次は奥多摩駅の看板を作った沖倉製作所へ伺いました。見たことのない加工機械がずらり! 代表の沖倉さんは「今の時代、材木屋はなんでも出来なければいけない!」と仰います。工場内で色々な機械や作業している方を見ているうちにその意味が少しずつ理解出来ました。新たな技術、安全の確保、人にしか出来ない繊細な高度な技術。これらを組み合わせることで「こういうものが欲しい、ああいう生活がしたい」という希望を叶えることができます。広葉樹で出来上がったばかりのテーブルを拝見させて頂きましたが、とにかく温かみがあり、この世にひとつしかないオリジナル感がとても素敵でした。私もこだわった木材でお家を建てたい、家具がほしいと強く思いました。

木に携わる多くの方の努力と地元材への思い、そして森林・林業界の未来のために、私は木の魅力を「表現」することについて考えていきたいと思っています。



▲多摩産材を使用し、山小屋風にリニューアルされた奥多摩駅前にて

森林保険

避けられない自然災害、
あなたの森林に備えはできていますか。



森林保険は
台風や山火事などの災害による
森林への損害を総合的に補償します。

お申し込みは、お近くの森林組合、または森林組合連合会へご相談ください。



国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林保険センター
全国森林組合連合会・道府県森林組合連合会・森林組合



台風、山火事などの
災害による
森林の損害への
大切な備え

1 加入できる森林は？

人工林を
対象としています。

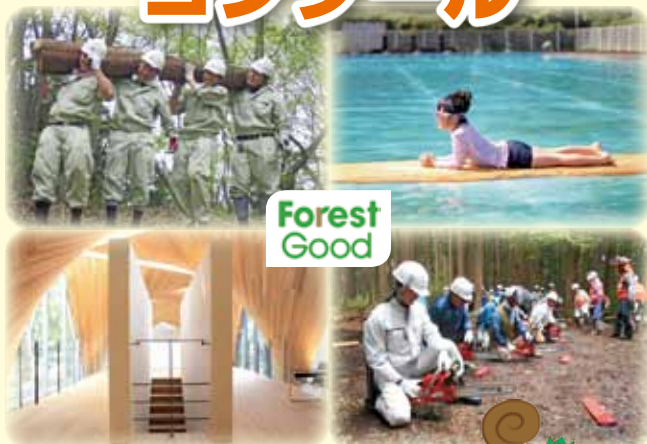
2 誰でも申し込める？

個人、法人を問わず
どなたでもお申し込み
いただけます！

3 相談・申込先は？

最寄りの森林組合、
森林組合連合会に
お気軽にご相談ください。

Forest Good 2019 間伐・間伐材利用 コンクール



今回で20回目！
「継続的取組部門」を設けました



© JOSHIBI

間伐・間伐材利用コンクールは、全国から間伐・間伐材利用に関する様々な取組やアイデア製品等を募集し、優れた取組や製品等を表彰し、間伐・間伐材利用の推進を図るために開催しているものです。

応募期間

令和元年 10月7日まで

皆様のご応募お待ちしております！

※ 詳細については下記 URL をご確認ください

<https://www.eco-online.org/forest-good/>



応募先

間伐・間伐材利用推進ネットワーク事務局
NPO 法人 JUON (樹恩) NETWORK
TEL : 03-5307-1102
mail : juon-office@univcoop.or.jp

主催：間伐・間伐材利用推進ネットワーク
後援：林野庁、間伐推進中央協議会

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



本誌に使われている紙は、
日本の森林を育てるために
間伐材を積極的に使用しています。



「林野」は林野庁 HP でもご覧になれます。詳しくは

情報誌 林野

検索